

# 現新発田市水道ビジョン（平成28年度～令和5年度）の振り返り

資料2

基本理念	基本目標	施策名	事業内容	H28～R5 当初計画 予定事業 費 (千円)	計画時 期	達成度の確認項目	①H28～R5 実績事業費(千円)		②実施 時期		③R5年度末 評価結果		④評価結果の理由	⑤8年間の主な実施内容		⑥ 施策 評価	⑦施策評価の理由
							執行率	達成度	実施状況	H28～R1	R2～R5						
												達成度		実施状況			
「お客様に信頼され、お客様と共に歩む水道」 基本目標Ⅰ	安全でおいしい水道水の供給	施策1. 安全でおいしい水づくりのより一層の推進	①水源保護対策の実施（合併浄化槽補助）	2,400	H28～R5	合併浄化槽設置補助金交付事業実施の有無	360	15%	H28～R5	A	継続実施	当初計画どおり、申請に基づき該当事者への補助を行っているため。	H28：5件 H29：3件 H30：1件 R1：1件	R2：1件 R3：0件 R4：1件 R5：0件	A	計画どおり実施している。	
			②安全な水質の維持 江口浄水場の活性炭設備導入	45,000	H29	江口浄水場の活性炭設備導入の有無	48,039	107%	H29～H30	A	完了	活性炭設備の導入に当たり、厚生労働省へ変更認可申請が必要となり、工事を平成30年度に繰り延べたが、計画どおり設置したため。	H29：変更認可申請 H30：設置工事				
			②安全な水質の維持 浄・配水施設の計画的な清掃	0	H28～R5	浄・配水施設の清掃実施状況（PI：実施率）	0	—	H28～R5	A	継続実施	実施率94%のため。菅谷増圧ポンプ場で一部の設備故障があったため、一部清掃ができず、実施率が計画より低くなった。	H28：34% H29：50% H30：49% R1：85%	R2：88% R3：88% R4：95% R5：94%			
	施策2. 老朽管の計画的な更新と耐震化	安全でおいしい水道水の供給		①石綿管の更新	340,000	H28～H29	石綿管の更新率（実施延長/計画総延長）	175,425	52%	H28	A	完了	更新率100%のため。計画期間更新延長401m	実施延長 H28：401m		B	石綿管は全て更新することができた。今後は古い铸铁管の更新に注力していく。
				②老朽化の進んだ铸铁管の耐震管への更新	1,300,000	H28～R5	古い铸铁管の更新率（実施延長/計画総延長）	2,786,971	214%	H28～R5	A	継続実施	更新率86%のため。	実施延長 H28：199m H29：2,703m H30：2,688m R1：2,649m	実施延長 R2：962m R3：1,702m R4：2,588m R5：905m見込み		
				③加治川水管橋の更新	172,966	H29～R1	加治川水管橋の更新の完了	0	0%	未定	-	未着手	国道7号線拡幅事業に併せて水管橋を更新する予定だが、国の拡幅事業が未定であることから着手できないため。				
				④水管橋の修繕	2,240	R5	水管橋の修繕実施の有無	10,879	486%	R5	B	継続実施	令和5年度から修繕を実施する計画だったが、点検、実施設計には着手しているため。		R5：水管橋9橋点検実施、加治川水管橋改修工事実施設計（工期R5.12～R6.8）		
	施策3. より安定した水の供給を目指す（監視制御システムの整備、安定供給のための建設改良）	安全でおいしい水道水の供給		①監視制御システムの整備・充実、非常通報装置の整備	147,264	H28～R5	監視制御システムの整備・拡充施設の設置の完了	231,978	158%	H28～R5	A	継続実施	設備等の点検整備を計画的に実施したため。	H28～R1：総合監視制御システムメンテナンス業務委託 H30：下新保非常通報装置更新工事 R1：松岡非常通報装置更新工事	R2～R5：総合監視制御システムメンテナンス業務委託	A	一部、事業計画の変更を行ったが、安定供給を行うための体制が整っている。
				②油監視装置の設置	23,600	R5	監視制御システムの整備・拡充施設の設置の完了	0	0%	R5	-	未着手	計画変更により令和9年度に着手予定。				
				③簡易水道事業の統合	321,188	H28～R1	簡易水道事業の統合事業に伴う工事の完了	165,780	52%	H28～H30	A	完了	簡易水道事業の統合に伴い、監視制御システムの整備・拡充を行ったため。	H28：中々山統合整備事業（粗ろ過池、電気設備、他） H28：遠隔監視制御装置設置工事 H28：滝谷新田発電機、配水P更新工事 H30：板山2他遠隔監視装置機能増工事			
				④大槻地区の上水道への組入れ	275,400	H28～H29	大槻地区の上水道への組入れ	225,580	82%	H28～H29	A	完了	平成28年度に上水道への組入れを完了したため。	H28：布設延長：3,793m H28：電気機械設備設置 H29：仮設管撤去工事：741m			

# 現新発田市水道ビジョン（平成28年度～令和5年度）の振り返り

資料2

基本理念	基本目標	施策名	事業内容	H28～R5 当初計画 予定事業 費 (千円)	計画時 期	達成度の確認項目	①H28～R5 実績事業費(千円)		②実施 時期		③R5年度末 評価結果		④評価結果の理由	⑤8年間の主な実施内容		⑥ 施策 評価	⑦施策評価の理由
							執行率	達成度	実施状況	H28～R1	R2～R5						
「お客様に信頼され、お客様と共に歩む水道」	基本目標Ⅱ	施策4①. 浄・配水施設 の計画的な 修繕と更新	①施設更新計画の計画的な見直し		H28～R5	新発田市水道事業中・長期計画の見直しの実施			H28～R5	B	継続実施	財政収支計画を作成するに当たり、次回水道ビジョン計画期間を含む令和15年度までの施設更新計画の見直しを行ったため。	H29：財政収支計画の作成	R5：財政収支計画の作成	A	定期的な修繕・更新によって、施設の長寿命化を図ることができている。今後も計画的な修繕・更新を行っていく。	
			②沈砂池の修繕	409	R5	各施設・設備の修繕及び更新の完了	7,678	1877%	H28～R1	A	完了	令和元年度に沈砂池屋根等の改修を実施したため。	H30：屋根一部補修、アスベスト検査実施 R1：沈砂池屋根等改修工事				
			③江口浄水場の修繕、更新	399,399	H28～R5	各施設・設備の修繕及び更新の完了	160,652	40%	H28～R5	A	継続実施	江口浄水場沈殿池設備の修繕・更新を実施したため。	H28～H30：沈殿池ローラー取替工事 H28～H30：計装設備更新工事 H28：沈殿池ろ過池塗装工事 R1：ネットワークカメラ更新工事	R2：引込ケーブル更新他 R3：計装設備更新 R4：沈殿池縦ローラー取替他 R5：ろ過池ユニット更新他			
			④内竹配水場の設備更新	676,791	H28～R1	各施設・設備の修繕及び更新の完了	814,287	120%	H28～R1	A	完了	内竹配水場設備更新事業として計画した設備等の更新が令和元年度に完了したため。	H28：ポンプ他設備更新 H29：ポンプ他設備更新 H30：電気設備等更新 R1：配管等更新				
			⑤増圧ポンプ場の設備・建屋更新	102,400	H28～R5	各施設・設備の修繕及び更新の完了	211,512	207%	H28～R5	A	継続実施	経年劣化した施設設備を計画的に更新したため。	H28：松岡増圧ポンプ場更新工事 H30：小国谷色度計設置工事 R1：荒川増圧ポンプ場更新工事（構内配管、電気設備）	R2：菅谷圧力タンク塗装工事他 R3：虎丸配水ポンプ取替他 R4：下石川配水ポンプ取替他 R5：三光配水ポンプ取替他			
			⑥簡易水道施設の修繕、更新（土木建設、設備）	0	H29～R5	統合事業以外の各施設・設備の修繕及び更新の完了	52,772	—	H28～R5	A	継続実施	簡易水道事業統合後も適正な修繕・更新工事を実施したため。	H28：板山1仮設活性炭ろ過設備設置工事 H29：板山1減菌装置等更新工事 R1：板山2次亜注入設備改良工事	R2：板山浄水場屋根塗装工事他 R3：上赤谷次亜注入設備改良 R4：山内配水ポンプ取替他 R5：滝谷新田ろ過水流量計取替他			
		施策4②. 浄・配水施設 の耐震化	①江口浄水場の施設の耐震化	587,231	R1～R5	江口浄水場の施設（沈殿池、ろ過池、浄水池）の耐震化完了	491,061	84%	R1～R5	D	再検討	浄水池耐震化工事を実施したが、沈殿池ろ過池更新事業を休止したため。今後は、既設沈殿池ろ過池の長寿命化事業を実施する。	R1～R2：基本計画の策定	R2：沈殿池ろ過池更新基本計画 R3～R4：沈殿池ろ過池更新基本設計 R3～R4：浄水池耐震化工事	B	一部、事業計画の変更を行ったが、施設の耐震化は着実に進んでいる。	
			②内竹配水場の施設の耐震化	148,777	H28～R1	内竹配水場の施設（第1、第2配水池、第1、第2ポンプ室）の耐震化完了	499,650	336%	H28～R1	A	完了	令和元年度に内竹配水場施設の耐震化事業が完了したため。	H28～H29：第1配水池耐震化工事 H30：第2ポンプ室耐震化工事 H30～R1：第2配水池耐震化工事				
			③江口浄水場、内竹配水場以外の施設の耐震診断、耐震化工事	11,300	R4～R5	その他施設（紫雲寺・真野原・その他）の耐震診断完了	46,983	416%	R2～R5	A	継続実施	計画を前倒して令和2年度から事業に着手し、耐震化事業を実施したため。	R2：紫雲寺耐震診断 R3：紫雲寺配水池耐震化詳細設計、真野原耐震診断 R4：紫雲寺配水池耐震化工事				
		施策5. 管路の計画的な更新と耐震化	①管路の更新	600,000	R1～R5	新発田市水道事業中・長期計画に基づく進捗状況（実施延長／計画総延長）	425,292	71%	H28～R5	C	継続実施	更新率47%のため。	実施延長 H28：56m H29：232m H30：1,457m R1：818m	実施延長 R2：489m R3：1,001m R4：130m R5：495m見込み	B	老朽管の更新には多くの事業費が見込まれるが、今後も計画的に進めていく。	
			②導水管、送水管の更新	10,444	R5	新発田市水道事業中・長期計画に基づく進捗状況（実施延長／計画総延長）	192,874	1847%	R4～R5	B	継続実施	江口浄水場整備事業に合わせて実施予定であったが、前倒して整備を実施したため。	R4：送水管入替工事実施設計	実施延長 R5：551m			
			③簡易水道地区の管路の更新	214,000	H29～R3	新発田市水道事業中・長期計画に基づく進捗状況（実施延長／計画総延長）	167,317	78%	H29～R1	A	完了	中々山、滝谷新田地区の導・配水管更新で簡易水道統合整備事業を完了したため。	H29：中々山導・配水管更新設計委託 H30：中々山導・配水管更新工事、滝谷新田導・配水管更新設計委託 R1：滝谷新田導・配水管入替・原水流量計設置工事				

# 現新発田市水道ビジョン（平成28年度～令和5年度）の振り返り

資料 2

基本理念	基本目標	施策名	事業内容	H28～R5 当初計画 予定事業 費 (千円)	計画 時期	達成度の確認項目	①H28～R5 実績事業費(千円)		②実施 時期		③R5年度末 評価結果		④評価結果の理由	⑤8年間の主な実施内容		⑥ 施策 評価	⑦施策評価の理由
							執行率		達成 度	実施状況	H28～R1	R2～R5					
「お客様に信頼され、お客様と共に歩む水道」	基本目標Ⅱ	強靱 く大規模 災害にも 負けない 水道づくり 施策6. 大規模災害 に備えた対策	①大規模災害時応急給水マニュアル(災害時における行動指針)の更新	5,000	H28～R5	大規模災害時応急給水マニュアルの更新実施の有無	0	0%	H28～R5	B	継続実施	平成28年度に更新済みであり、その後、軽微な変更であったことからマニュアルの更新までは至っていないため。	H28: 組織体制を更新		B	維持管理コストに見合った数量をキープし、災害時に備えている。	
			②BCP(事業継続計画)マニュアルの検討		H29～H30	BCPマニュアルの検討内容			R1～R5	A	継続実施		他事業体での災害を参考にしながら、常に見直しを行っているため。	R1: BCPマニュアルの策定			
			③浄・配水及び給水に必要な物資の計画的な備蓄等		H28～R5	浄・配水業務に必要な備蓄数の検討			H28～R5	B	継続実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>継続的に、給水袋(60)を購入し、ボトルドウォーター(500ml)を製造している。</li> <li>阿賀野市、胎内市と緊急時における水道管連絡協定を締結済み。</li> <li>浄配水業務に必要な薬品については、契約業者と災害協定を締結済み。</li> </ul>	R1備蓄数量 ・給水袋(60): 4,000枚 ボトルドウォーター(500ml): 10,000本備蓄 ・給水タンク: 240個(100)、10個(200)保有			R5備蓄数量(見込み) ・給水袋(60): 1,280枚 ボトルドウォーター(500ml): 10,000本備蓄 ・給水タンク: 313個(100)、10個(200)保有
基本目標Ⅲ	「お客様に信頼され、お客様と共に歩む水道」	持続 くお客様を第一に考えた健全で効率的な事業運営の確立	①水道事業の連携形態(民間委託)の検討	10,000	R5	水道事業の連携形態(民間委託)の検討実施の有無	0	0%	R2～R3	A	継続実施	平成28年度から水道料金等徴収業務委託を民間業者に委託済みであり、その実績について検証を行っているため。	水道料金等徴収業務委託の効果を検証し、令和3年度から第2期の水道料金徴収業務の委託を行った。令和4年度に江口浄水場更新基本設計で民間委託の検討結果をまとめたが、更新事業を休止することになった。		A	民間委託により経費削減と受付対応等のサービス向上の効果が得られている	
			②経費削減		H28～R5	総収支比率(PI3003)			H28～R5	A	継続実施	計画当初値(H24決算値)100.33%に対し、106.80%(R5決算見込み値)と改善を示しているため。	H28: 114.66% H29: 109.28% H30: 104.34% R1: 109.58%	R2: 110.75% R3: 112.58% R4: 109.59% R5: 106.80%見込み			
			③企業債未償還残高の縮減		H28～R5	企業債の未償還残高			H28～R5	A	継続実施	平成27年度末起債残高7,099,525千円に対し、令和5年度末起債残高6,148,366千円(旧簡水分除く)の見込みであり、起債残高の縮減に努めたため。	H28: 7,243,604千円 H29: 8,004,851千円(うち旧簡水分817,037千円) H30: 7,929,639千円(うち旧簡水分818,692千円) R1: 7,815,147千円(うち旧簡水分834,221千円)	R2: 7,507,655千円(うち旧簡水分786,780千円) R3: 7,252,867千円(うち旧簡水分738,760千円) R4: 7,095,390千円(うち旧簡水分689,873千円) R5: 6,788,749千円(うち旧簡水分640,383千円)見込み			
			④料金水準と体系の検討		H28～R5	料金の水準と体系の検討の有無			H28～R5	A	継続実施	平成28年度から適正な料金水準と体系の検討を始め、平成30年度に水道事業審議会へ諮問、平均改定率10.4%、通減性の導入を含めた料金体系について答申を得ることができたため。	H28～H29: 水道局で検討 H30: 新発田市水道事業審議会に諮問・答申 R1: 料金改定実施	R2～R5: 料金改定の効果の検証			
			⑤技術職員の確保と養成のための研修の充実		H28～R5	職員の研修時間(PI: 外部、内部研修時間)			H28～R5	A	継続実施	新型コロナウイルス感染症流行時以外は積極的に外部研修を受講している。内部研修は、外部研修が充実していることから、内部研修会としては設けず、日常業務の中で指導育成を行っている。	(PI値C103)H28: 14.9 H29: 14.4 H30: 11.7 R1: 14.0 (PI値C104)H28: 0.0 H29: 0.0 H30: 0.0 R1: 0.0	(PI値C202)R2: 4.5 R3: 5.5 R4: 6.2 R5: 6.4 見込み (PI値C203)R2: 0.0 R3: 0.0 R4: 0.0 R5: 0.0見込み			
		⑥組織体制のスリム化と民間委託の推進	H28～R5	水道事業の連携形態(民間委託)の検討実施の有無	R2～R3	A	継続実施	平成28年度から水道料金等徴収業務委託を民間業者に委託済みであり、その実績について検証を行っているため。	水道料金等徴収業務委託の効果を検証し、令和3年度から第2期の水道料金徴収業務の委託を行った。令和4年度に江口浄水場更新基本設計で民間委託の検討結果をまとめたが、更新事業を休止することになった。								

# 現新発田市水道ビジョン（平成28年度～令和5年度）の振り返り

資料 2

基本理念	基本目標	施策名	事業内容	H28～R5 当初計画 予定事業 費(千円)	計画 時期	達成度の確認項目	①H28～R5 実績事業費(千円)		②実施 時期		③R5年度末 評価結果		④評価結果の理由	⑤8年間の主な実施内容		⑥ 施策 評価	⑦施策評価の理由
							執行率		達成 度	実施 状況	H28～R1	R2～R5					
「お客様に信頼され、お客様と共に歩む水道」 基本目標Ⅲ	持続 くお客様を第一に考えた健全で効率的な事業運営の確立	施策10. 事業の広域化の調査・研究及び事業の統合	①事業の広域化の調査・研究		H28～R5	事業の広域化の調査・研究事項			H28～R5	A	継続実施	近隣市と緊急時用水道連絡管整備を推進し、県設置の広域化検討会に参画したため。	平成28年度に阿賀野市、令和元年度に胎内市と『緊急時における水道連絡管に関する協定』を締結し、連絡管整備を進めた。広域化の調査・研究を継続するとともに、「新潟県水道広域化プラン」の策定に参画した。	A	近隣市と緊急時における連携体制は整っている。今後も、広域化の調査・研究を継続していく。		
			②簡易水道事業との経営統合		H28～R5	簡易水道事業との経営統合の完了			H28	A	完了	平成28年度末で市営簡易水道事業を廃止し、平成29年度から上水道事業へ経営統合を行ったため。	事業統合に向けた資産台帳の整理及びシステム化や厚生労働省への届出等				
	施策11. お客様サービス向上に向けた取組	①お客様への水道情報の積極的な提供		H28～R5	類似都市との情報の提供度の比較(P I)				H28～R5	A	継続実施	類似都市平均値(計画当初値:6.5)と比較すると、数値が上回っているため。	(PI値3201)H28:7.2 H29:8.5 H30:9.4 R1:10.2	(PI値401)R2:10.9 R3:7.5 R4:6.6 R5:9.0見込み	A	今後も、お客様に積極的な情報提供を行っていく。また、水道水の利用促進に注力していく。	
		②お客様アンケートの実施と活用		H28～R5	アンケート実施の有無(P I)				H28～R5	A	継続実施	新型コロナウイルス感染症流行時以外での施設見学会や水道イベントでアンケートを実施している。	(PI値3203)H28:2.79 H29:2.13 H30:0.37 R1:2.92	(PI値502)R2:0 R3:0 R4:0 R5:3.89見込み			
		③水道水の利用促進		H28～R5	利用促進活動の有無				H28～R5	A	継続実施	未接続世帯の訪問により(コロナ禍以降は文書送付)利用促進を図り、加入実績を上げているため。また、水道イベントを開催し、水道水の魅力についてPRを行った。	H29:訪問世帯175世帯 接続12世帯 H30:訪問世帯163世帯 接続5世帯 R1:接続20世帯	R2:文書送付52世帯 接続6世帯 R3:文書送付52世帯 接続9世帯 R4:文書送付50世帯 接続10世帯 R5:文書送付39世帯 接続8世帯 水道イベントの実施及びHP等各種媒体を通じてのPR			